

黒野城と加藤貞泰公研究会

2019年度(平成31年・令和元年)活動行事記録

則武新田土地区画整理組合 記念碑(和合新田)除幕式及び「尉殿堤記念碑」の除幕式

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成31年4月3日(水)
10:00~11:00
則武新田 新田天満宮

則武新田天満宮境内にて「則武新田土地区画整理組合」の記念碑除幕式と一緒に、移転された「尉殿堤記念碑」の除幕式が柴橋橋阜市長、野田聖子議員(代理)、信田市議長など多数の来賓の中、盛大に式典が開催されました。研究会も来賓として招かれ、6名が参加しました。

移設地を提供の神社や記念碑の製作を全面的に支援された組合に感謝し、市教育委員会が設置の案内板とともに、貞泰公の事績である河川の歴史的文化伝承が、引き継がれたことは大変喜ばしいことです。



末広町老人会 賛歌合唱&紙芝居「関ヶ原」

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成31年4月7日(日)
9:30~10:10
末広町公民館

末広町の田浦さんからの依頼で紙芝居「関ヶ原」上演。当地での紙芝居は3度目になりました。始めに賛歌を紹介し全員合唱。参加者24名は、公園掃除の後に集合。紙芝居に続いて漫談の2部構成で企画されていた。



安食下老人クラブ 賛歌合唱&紙芝居「関ヶ原」

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成31年4月8日(月)
12:30~13:30
安食下公民館

安食在住の加藤正義さんからの要請で、安食下老人クラブ17名の参加で紙芝居「関ヶ原」を上演。最初に「あゝ黒野城下町」を紹介し全員で合唱。黒野地域以外での賛歌披露は初めて。歌詞の寸木とは？鶉飼の里とはとは？など質問も抱負。和気あいあいと過ごした約1時間でした。



2019「黒野城跡イルミネーション」 南側土塁に城と旗・400年前再現

城跡南側のKVK工場跡地が更地となり、県道からの
視界が良く南側土塁上に既存の大型城(高さ約5m)
を初めて建てる。また旗20本追加(支柱共)し400年
前を彷彿。何れも設置は研究会にて建てる。

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成31年4月27日(土)
黒野城跡南側土塁



県道から望む



夜景



裏側



北向き強風下の設置にて、角材やロープ3本で補強する。



「黒野城跡イルミネーション ありがとう平成！ よろしく令和！」 賛歌「あゝ黒野城下町」市長と一緒に唄おう！

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成31年4月28日(月)

19:00～20:30

黒野城跡



4月28日～5月4日まで開催の「黒野城跡イルミネーション ありがとう平成！ よろしく令和！」2日目の28日夜に、特別イベントが催されました。柴橋岐阜市長や来賓を迎え、実行委員会や黒野城武将隊、そして集まった住民の皆さんと賛歌「あゝ黒野城下町」を大合唱しました。そして岐阜大学医学部看護学科の学生が考案した「賛歌で健康体操」を歌のメロディーに合わせて体を動かしました。



岐北中学校美術部の作品



黒野白寿会連合会福祉大会 賛歌「あゝ黒野城下町」紹介 & 講演「黒野城下町の歴史」

当大会は、昨年秋の福祉大会、紙芝居「関ヶ原」に引き続き、今年はふるさとの賛歌「あゝ黒野城下町」を紹介。会長あいさつ、浅野賛歌制作部長の歌詞説明後、一曲目はCDで、白寿会あすなるコーラス部の皆さんのバックコーラスで紹介。2曲目は大沼智幸先生の指揮にて会場全員で合唱。その後、プロジェクターで「黒野城下町の歴史」を講演。先に開催の総会・福祉大会共に音響(君が代・賛歌・岐阜市老人クラブ連合会歌)は名知さんが協力。



令和元年度
定期総会・福祉大会

日時 令和元年5月6日(月)
 午前九時半
 場所 西部コミュニティセンター

黒野白寿会連合会

令和元年5月6日(月) 黒野白寿会連合会総会

黒野城と加藤貞泰公研究会

1. ふるさとの賛歌「あゝ黒野城下町」紹介

- ・あいさつ……………会長 河口耕三
- ・歌詞について……………制作委員長 浅野正剛
- ・賛歌紹介……………CD曲
- ・全員合唱……………指揮者 大沼智幸先生
 バックコーラス・あすなるコーラス部
- ・作曲について……………大沼智幸先生



みんなで唄おう・みんなで聞こう



2. 講演「黒野城下町」の歴史………河口耕三(プロジェクターで紹介)

令和元年5月6日
 黒野白寿会連合会 総会

講話
「黒野城下町」の歴史

＝黒野城があった時期＝
 文禄3年(1594)～慶長15年(1610)
 安土桃山時代～江戸時代初期
 秀吉時代～家康時代

若き城主の面影を
加藤左衛門尉貞泰

生まれ 天正8年(1580)3月
 岐阜今泉村橋詰(市役所北)

父 加藤光泰の長男
 母 一柳藤平衡の娘

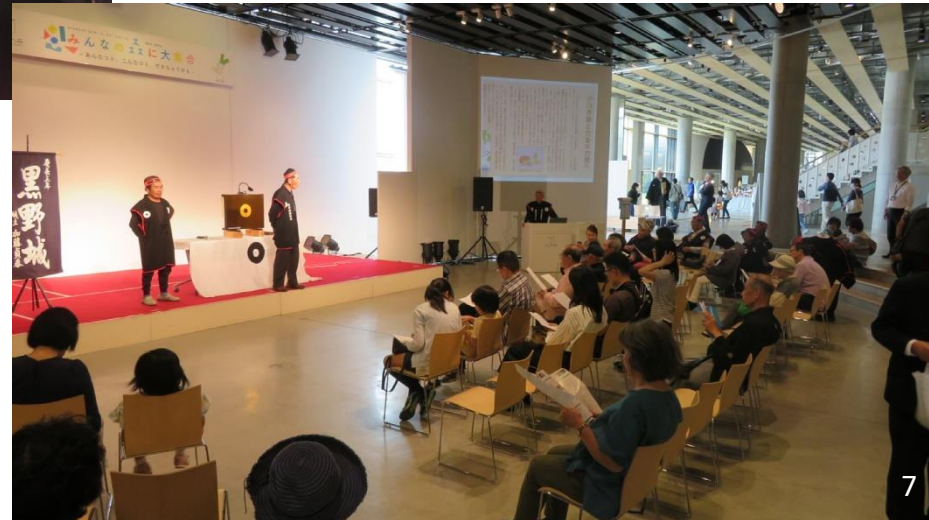
・父光泰(甲斐国24万石)没後、黒野へ4万石で国替え(14才)
 ・在城期間16年(～30才)
 ・生涯で最も長い16年間を黒野で過ごす
 ・元和9年(1623)5月26日江戸屋敷で没(44才)



ぎふメディアコスモス みんなの森に大集合

ふるさとの賛歌「あゝ黒野城下町」&紙芝居「小川市の話」上演

ぎふメディアコスモス ドキドキテラスにて2部構成で発表。賛歌はCD曲紹介のあと、見学者に歌詞を配り全員合唱。
 その後、賛歌歌詞に出てくる小川市の説話を紙芝居「小川市の話・力女と小女」を創作者郷孝夫さんの解説と朗読で紹介。
 約50名の見学者がありました。



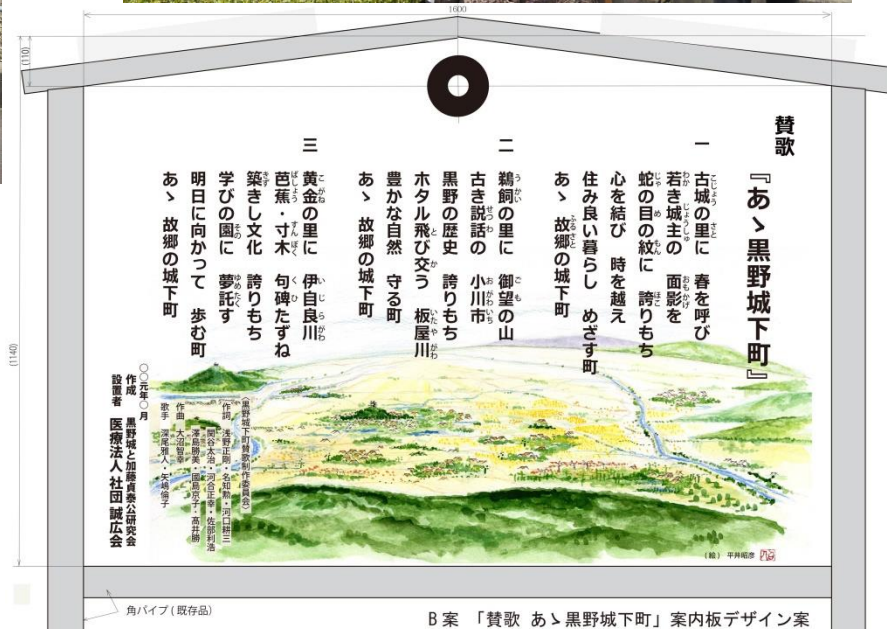
平野病院前の案内板更新 「賛歌 あゝ黒野城下町」の歌詞が案内板に

黒野城と加藤貞泰公研究会
令和元年5月16日(木)
平野病院・三ツ又

7年前に医療法人社団誠広会様のご協力で平野病院前に設置して頂いた「黒野城下町案内板」が南向きで表面が劣化してきましたので、新たに2案のデザインを提案し1月に発表した「賛歌 あゝ黒野城下町」の歌詞表示を設置。地域や来院の皆さんに黒野の歴史文化が記された歌詞を読んで頂くことが出来る様になりました。



従来の案内板



山県市「大桑地区周辺」歴史探訪

南泉寺・六萬墓・十五社神社・四国堀・明智光秀墓地

6月9日(日) 当研究会主催で16世紀半ば美濃の守護所があった山県市大桑地区と中洞地区の史跡を探訪しました。当日は少雨の中を10名の会員が出席し、「NPO法人山県市総合ボランティアセンター」の土田繁寿氏の案内で見て回りました。



南泉寺山門



土岐頼純の墓(南泉寺)



1542年大桑大乱の際の戦死者の墓



十五社神社:奥には土岐氏による狛犬が奉納



四国堀:尾張 近江 越前 伊勢の加勢により構築



明智光秀の墓所と伝わる



桔梗塚

第6回 黒野歴史探訪 長良川鶺鴒発祥の地 黒野町・下鶺鴒・小野の史跡めぐり

黒野城と加藤貞泰公研究会
令和元年6月16日(日)
8:30~11:40

黒野まちづくり協議会主催・研究会企画・案内の第6回黒野歴史探訪を開催。雨天予報で一日順延となり、開催日も時折小雨が降る天候でしたが、無事に約3時間のコースを参加者39名(子ども1名)とスタッフ11名の50名が地域の史跡を訪ねながら歩くことが出来ました。



受付



開催あいさつ



下鶺鴒 多賀神社



楽市制令案内板前



黒野町の堤防



普明院梅宝寺



白木家長屋門



白木家塀と大野家



鶺鴒発祥の地説明



小野 玉ノ井神社



小野の小道



正法寺



正法寺境内 安田以哉坊 桜塚



正法寺
本堂



「歩こう会」一行・黒野城跡～今川の田舎道・岐阜大学へ散策

黒野城と加藤貞泰公研究会
令和元年6月21日(金)
9:30～11:40

会員の後藤信義さんの紹介で、事務方の林さんや後藤さんの兄など「歩こう会」の会員35名が平野病院に駐車して黒野城跡に集合。歩こう会の会長様らのあいさつ後、名知さんが尉殿堤の解説。本丸、多賀神社、熊野神社、今川八幡神社を経由して今川の伊自良街道で案内人4名は別れ、一行は岐阜大学食堂へ。日頃通らない田舎道の散策は好評でありました。



黒野 多賀神社



古市場 熊野神社

岐阜市指定文化財(史跡)

八幡神社のスギ

このスギは、木の長さ約三三八メートルあり、岐阜市で最も大きなスギの一つである。ほじれば、この神社の歴史とともに、繰返されるのどかならされる。木が太く、樹皮が茶色に染み、樹幹は全長八幡神社境内には、この他に、モミ、カラマツなど、自然に育ち、また、社務所として利用されている。所在地：岐阜市今川二七七 八幡神社境内
樹齢：約四百歳
高さ：三六メートル
太さ：五二センチメートル
目盛り：一四・〇メートル
平成三年三月七日
岐阜市教育委員会

今川八幡神社



今川七面堂

布製の陣羽織を新調

長年の念願であった布製の陣羽織が完成し、定例の研究会にて参加者全員試着。全24着(内2着は花柄)を製作し、裁断・縫製・アイロンシール作業の全てを会員の國島京子さんにお願しました。プロ級の仕上がり。蛇の目紋とネームはアイロンシールで関ヶ原古戦場のハヤテワーク製。今後、陣羽織は研究会の備品扱いで各種イベント毎に活用。



2019年7月23日 岐阜新聞 地域版

家紋入り 布製で陣羽織を新調



陣羽織を新調した「黒野城と加藤貞泰公研究会」
 岐阜市下鶴飼、黒野会館

黒野城と加藤貞泰公研究会

史跡案内、紙芝居で着用

岐阜市の北西部で活動する市民グループ「黒野城と加藤貞泰公研究会」が、衣装の陣羽織を新調した。黒野地域の史跡案内や紙芝居の上演などで着用する。

研究会は、1594年に築城された同市黒野の黒野城と一代限りの城主加藤貞泰について研究しようと2010年に発足した。衣装は和紙を使った手製の物を使っていたが、来年

発足10周年を迎えるのを前に新しくした。新しい陣羽織は布製で、黒地で胸と背中に加藤家の家紋「蛇の目紋」が入っている。

20日の定例会で会員にお披露目された。会長の河口耕三さん(71)＝同市今川＝は「発足10周年となる来年に向け、新たな陣羽織で黒野城跡のPRに力を入れた」と意気込んだ。

(大賀由貴子)

歴史講座 内堀信雄氏

関ヶ原合戦図を読む～米野の戦い・岐阜城の戦い～

今年の黒野会館歴史講座は、全47名の参加者にて岐阜市教育委員会社会教育課課長 内堀信雄氏の講師にて、資料に基づいた歴史の考え方や、関ヶ原合戦の前哨戦である2つの戦いを解説して頂きました。関ヶ原合戦では、前哨戦について講演を聞くのは初めての機会。米野の戦いと岐阜城の戦いについて一次資料、二次資料をもとに地名含め学術的な解説で多くの配布資料と共にプロジェクターを交えて、お話を聴衆。大変好評でありました。



両合戦に関する研究

- ・「米野の戦い」学術論文等無し
- ・「岐阜城の戦い」学術論文等僅か
- ・小説・文学作品・一般書はぼう大
- ・一般書は調査研究に依拠しない。

一次・二次史料や過去の一般書の「つまみ食い」で記述→同じことが..

公民館歴史講座
 一夏の夜の関ヶ原・前哨戦を聞こう！

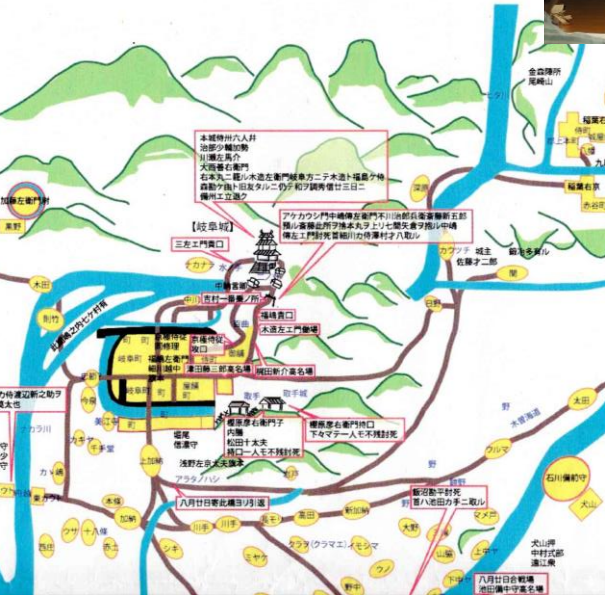
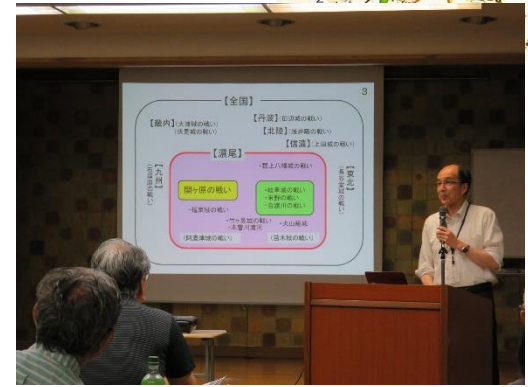
舞台は米野の戦い・岐阜城の戦いなど
関ヶ原合戦図を読む

日時 8月21日(水)
 午後7時～8時30分

場所 黒野会館(黒野公民館)2階研修室
 岐阜市教育委員会社会教育課

講師 課長 内堀信雄氏

※ お申し込みは黒野会館窓口 020-90-0202



第37回黒野校区市民大運動会

「黒野城武将隊」仮装行列・剣舞披露

黒野城と加藤貞泰公研究会
令和元年10月6日(日)
13:45～14:00
黒野小グランド

隔年開催の黒野校区市民大運動会が快晴の秋晴れの下、黒野城武将隊(市民含む37名)が仮装行列を行いました。今回で4回目、今年のお姫様は平野恭子県議会議員。新たに剣舞隊が白木好子師匠の指導を受けたメンバーと留田武公民館長の詩吟で「川中島」を初披露しました。



加藤貞泰家臣で中江藤樹を育てた祖父の中江徳左衛門吉長を訪ねて 滋賀県高島市「中江藤樹記念館」館長ほか来訪

黒野城と加藤貞泰公研究会
令和元年10月7日(月)
15:00~18:00
黒野城跡・城下町

天正12年(1584)加藤貞泰の父・光泰が豊臣秀吉の家臣で近江国大溝城主2万石のとき、光泰に仕官した中江徳左衛門吉長は、以来黒野城主加藤貞泰にも仕え、黒野城下の屋敷に16年間在住(100石)。慶長15年(1610)貞泰が米子へ国替えになり吉長もお供しました。元和2年(1616)吉長は故郷小川村から9歳の藤樹を養子にして米子に行き、翌年貞泰の国替えで大洲に移ります。藤樹は吉長や加藤家家臣長らのもとで学び、後世に近江の聖人と言われるほどの偉大な人物になりました。その吉長が居た黒野城下町を訪ねて、中江藤樹記念館の富永雄教館長、藤樹書院の山本義雄評議員、女性学芸員2名が来訪。研究会は初の来訪を記念し、吉長が住んでいた屋敷跡附近に案内板を設置しお披露目。城下町・資料館を案内し、城跡分館では資料・絵図・検地帳を紹介して相互の交流を深めました。



「関ヶ原秋の武将イベント」・加藤貞泰コーナー初参陣

黒野城と加藤貞泰公研究会

令和元年10月19日(土)・20日(日)
関ヶ原古戦場笹尾山グラウンド

岐阜県と関ヶ原町主催の関ヶ原秋の武将イベントに加藤貞泰初登場。

笹尾山グラウンド出展エリアの関ヶ原古戦場や明智光秀など地域の観光紹介テント内で加藤貞泰のパネル展示が行われ、オープニングセレモニーにも招待されました。全国から多数の関ヶ原合戦ファンの方々が来場し、黒野城と貞泰の関ヶ原合戦での働きを紹介することができました。これは7月に県庁の関ヶ原古戦場整備推進課を訪問し、是非とも岡山烽火場のマップ、パンフレットなどに加藤貞泰名の表示をお願いに説明した際、今回の出展が決まりパネル2枚と、旗5本、配布資料3点を展示しました。パネルは主催者製作です。



姫路からの来場者



鉄砲隊長 澤田平氏



オープニングセレモニー後、古田県知事と記念写真



金沢の歴女
(竹中半兵衛と加藤光泰
調査中)



2日目のスタッフ

黒野会館まつり 加藤貞泰が築いた「尉殿堤」知って パネル展開催 & 舞台演技 剣舞川中島披露

黒野城と加藤貞泰公研究会
令和元年10月26・27日
黒野会館

則武の尉殿堤が昨年市史跡に指定され、今年4月「尉殿堤記念碑」が新田天満宮に移築して除幕式が行われました。この機会に領民を守った貞泰公の築堤偉業を知ってもらおうと岐阜と安八の尉殿堤パネル約45枚制作し展示。新聞報道での来場者もあり、長良川の三川分流の航空写真や地図に関心が高かった。
会館まつりの舞台演技では、剣舞教室のメンバーが「川中島」などを披露する。

岐阜新聞 2019年(令和元年)10月27日 日曜日



展示では、堤の場所を示す地図や写真、13の村々から農民が集結して普請したことなどを伝える史料など、約40のパネルで紹介。



加藤貞泰が築いた堤防の歴史知って
岐阜市パネル展
江戸時代初期の黒野城主、加藤貞泰（一五〇一―一六三三）が領地に築いた堤防「尉殿堤」を紹介するパネル展が26日、岐阜市下鶴飼の黒野会館で始まった。二十七日まで、貞泰は慶長年間、現在の岐阜市北部を流れていた長良川の分流と、安八町の榎斐川沿いに堤を築き、領民を洪水から守った。堤は貞泰の号「左衛門尉」にちなみ、尉殿堤と呼ばれた。



パネルは貞泰をたどる住民グループ「黒野城と加藤貞泰公研究会」が制作。古今の地図や文書を並べ、四百年前の偉業を解説した。会長の河口耕三さん（左）は「水害と堤の歴史を地域に伝えたい」と話す。二十七日まで開かれている「会館まつり」の一環。会場では、住民による手芸作品などの展示や舞台発表もある。（杉浦正幸）

調査研究成果の書籍発刊

「加藤貞泰・黒野に寺地寄進し後世賑わう 正木坊から黒野別院へ」

加藤貞泰が慶長15年(1610)に正木にあった正木御坊を洪水の影響などで黒野へ移転させた。移転後は黒野御坊となり繁栄。明治時代に黒野別院となり、岐阜西本願寺三別院の一つとして賑わい、黒野の町の中心地となる。冊子は約6、7年前から収集した文献や資料を基に資料集にまとまる。発刊はA4版、78頁。250部印刷し協力者や寺院など地域などの関係者に配布。また県図書館、市図書館、北方図書館、西部コミセン図書室、黒野会館、西郷公民館図書室などに寄贈する。

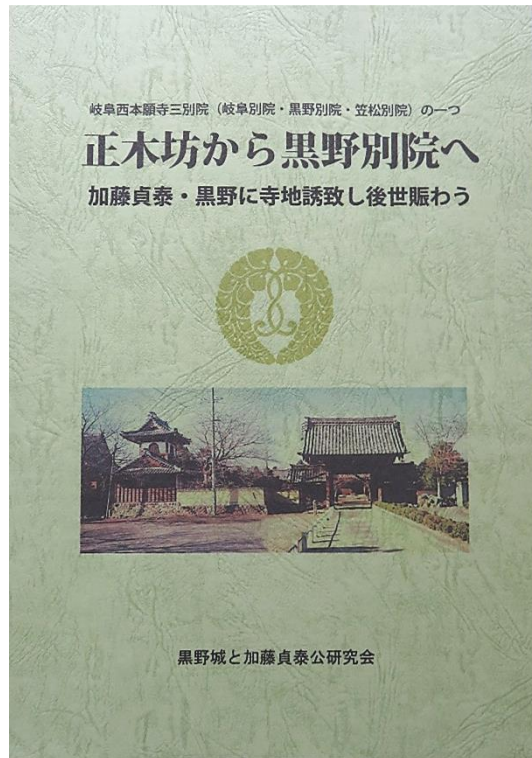
2019年(令和元年)11月22日(金曜日)

中

白

発行

印刷



黒野別院の資料集 住民グループが刊行

岐阜市黒野地区の住民グループ「黒野城と加藤貞泰公研究会」が、地元にあつ



加藤貞泰の肖像画の前で、資料集を披露する河口さん(岐阜市)

た寺院「黒野別院」の歴史をまとめた研究資料集「正木坊から黒野別院へ 加藤貞泰・黒野に寺地誘致し後世賑わう」を刊行した。黒野別院は、天正年間から正木村にあった寺院「正木坊」がルーツ。名君とされる黒野城主の加藤貞泰が一六一〇(慶長十五)年に黒野地区へ移し、周辺は門前町として栄えた。明治時代に黒野別院と改号し、岐阜西本願寺三別院の一つとして一九九六年まで存続し

た。資料集は、地域に伝わる古文書や史誌、絵図、関連史跡の写真などを多く掲載。創建当初から現代までの歴史を多角的に紹介し、貞泰が地域に残した功績や民衆の信仰史に迫っている。印刷、製本費は地元の事業所などからの寄付金で賄った。会長の河口耕三さん(70)は「貞泰公の功績を伝え、岐阜別院の歴史が消えないよう後世に残したい」と話している。A4判七十八ページ。非売品。市内の図書館などで読める。(杉浦正至)

長良川おんぱく2019 No88

「歴史漂う黒野城下町歩き&旬の富有柿を満喫！」

城下町歩きと富有柿のセット企画を3年間継続開催。暖かい好天にも恵まれ、岐阜大学地域科学部2年吉田未紗希さんの司会進行でスタート。市内外から来場の参加者13名(女性9名、男性4名)は、黒野城下町内めぐりや戦国武将加藤貞泰の話題や、関ヶ原合戦の紙芝居を上演。特に参加者の主な目的が富有柿満喫で、食べ比べもあり黒野城主の歴史紹介と共に満足感が届けられたと思います。14名のスタッフの皆さんご苦労様でした。

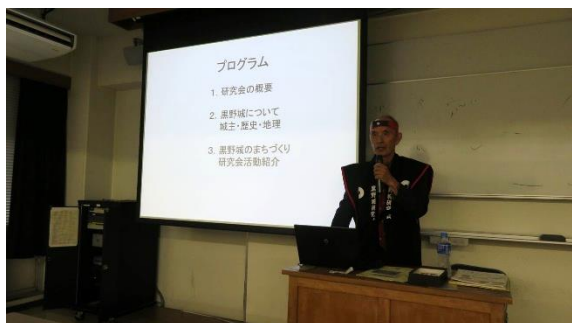


「現代のまちづくりと住民＝黒野城のまちづくり」

岐阜大学地域科学部の授業で講演

黒野城と加藤貞泰公研究会
 令和元年11月18日(月)
 14:25～14:15

岐阜大学地域科学部で教養の「現代のまちづくりと住民」という後期の授業にて1年の学生27名を対象に、1回(90分)「黒野城のまちづくり」について、お話をお願いできませんでしょうかと富樫教授から要請があり、当日は黒野城の歴史と研究会の市民活動状況を配布資料とパワーポイント158画面にて紹介しました。最後に賛歌「あゝ黒野城下町」をCDで紹介しました。学生の感想文は後日頂ける予定。別の日に市内では芥見東自治会のまちづくり授業が行われた。



歴史調査・研究活動
 他団体との交流
 リーフレット・マップの発行
 史跡案内板設置
 史跡案内
 紙芝居の制作・上演
 ふるさと黒野検定子ども版実施
 歴史講座
 展示会
 まちづくり
 研究会活動
 武将隊活動
 史跡整備
 研究成果冊子発行
 賛歌作りなど

多彩な活動を会員の知恵と熱意で
 取り組んでいます。

テーマ: _____ 月 日
 授業科目 _____ 学籍番号 1098025029 氏名 _____

岐阜の城下町の魅力を伝えるため
 に相手の努力がなされていることや
 岐阜の町作りに地域科学部や
 看護学部 etc. の岐阜大学の存在が
 貢献していることがよく分かり。
 学生という若い人材が町作りに
 力をつけていることがよく分かった。



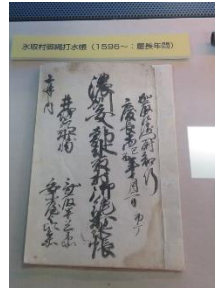
テーマ: _____ 11月18日
 授業科目 _____ 学籍番号 1198025006 氏名 _____

今回の講義で黒野城について、その
 歴史 城主の功績 について学ぶことができ、
 黒野城に一度行ってみたいと思いました。
 また、昔 岐阜大学の周辺は水害が多い
 ことを話や写真から知り 現在の岐阜大学の
 の周辺とは全然違うなと思いました。

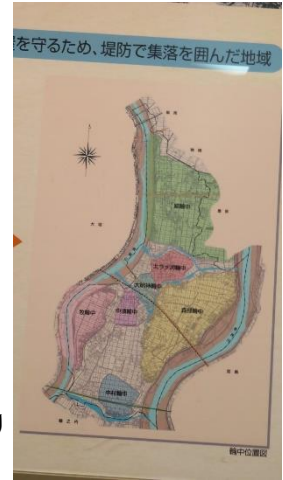
「安八の尉殿堤」

ハートピア安八歴史民俗資料館「犀川事件展」&大明神「尉殿堤遺跡」見学

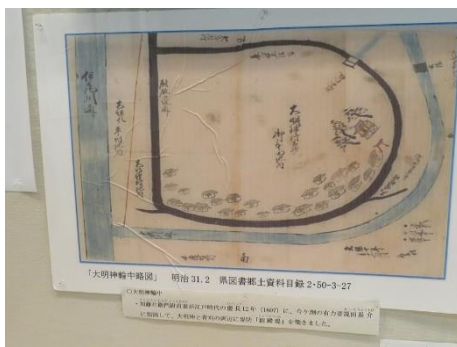
先月、黒野会館まつり「尉殿堤パネル展」に来場の安八の岩田義城氏やハートピア安八 揖斐課長との交流から、90年前に安八で起きた河川新設に関わる住民運動で軍隊が出動した歴史的イベント「犀川事件展」と大明神村に貞泰が築いた尉殿堤を見学し交流を深めた。



慶長14年
水取村貞泰検地帳



歴史民俗資料館
住民運動の犀川事件を初めて知りました。



「尉殿堤通」の名がある明治31年絵図



8年前訪問時は竹林の中だったが1昨年伐採された尉殿堤跡



岐阜大学地域科学部2年「地域づくり論」授業 柳田良造先生・黒野のまちあるき案内

黒野城と加藤貞泰公研究会
令和元年12月13日(金)
13:15~14:45

柳田良造先生の授業で岐阜大学地域科学部2年学生44名と富樫教授が黒野城跡に来城。3名の案内人で本丸跡、多賀神社、外堀、馬頭観音、小川市、国島家屋敷、郷家、伊藤家、黒野別院跡、聖観音堂を歩く。外堀附近の竹藪や舗装のない小道に名古屋生まれの学生が珍しさを口にし、黒野の田舎の素朴なまち歩きを体験した。



後日、学生達が6グループに分かれて城下町を調査し、1月31日に黒野城下町のまちづくり提案の発表会が岐阜大学にて行われ、案内した2名が参加。それぞれの提案は地域の人気がない学生ならではのアイデアが多数盛り込まれており、大変参考になりました。



黒野小フィールドワーク

土曜学習で6年生児童・黒野城下町歩き

黒野城と加藤貞泰公研究会
令和元年12月13日(金)
8:20～11:20

毎年恒例となった6年生3クラスの児約100名を対象に黒野城下町を歩くフィールドワークを開催。案内の研究会員8名は鎧・陣羽織で交通安全を兼ねて説明。黒野小を出発し小川市跡、多賀神社、黒野城跡、明善寺や黒野町筋などを巡り、それぞれの場所で歴史や伝承を説明しました。冬晴れでしたが冷え込む気候の中、熱心に説明を聞いてくれた児童の皆さん、ご協力頂いた先生方に御礼申し上げます。



東海古城研究会一行来訪

大桑城→黒野城跡

黒野城と加藤貞泰公研究会
令和2年1月19日(日)
15:20～16:30頃

東海古城研究会の一行42名(立松正敏会長・理事 今枝実・後藤正氏ほか)が、大型バスにて大桑城を見学後、黒野城跡に来訪。研究会の8名が出迎え、信田顧問のあいさつの後、土塁を一周し、説明を名知監事長、パネルで発掘の説明を関谷副会長がする。約1時間ぐらいの短い間でしたが、皆さん喜んで帰路につかれました。



戦国時代の城研究者来訪

黒野城と加藤貞泰公研究会
令和2年1月27日(月)
13:20~15:30

「町中に本丸土塁跡と外堀遺構が残ってる城跡は全国でも珍しい」と太鼓判

岐阜市教育委員会社会教育課の森村智幸氏の同行で、北陸城郭研究会会長の佐伯智也氏と、東京から城マニア・観光ライターのいなもとかおり氏が岐阜城を見学後、黒野城に来訪。

本丸跡と外堀など6ヶ所を河口・関谷・名知で案内。お二人は城研究の専門家、佐伯氏は、秀吉時代末期の城の特徴に関心があり、堀水際に堀水の波で土塁が削れないように設けた遺構が残っていると指摘。高岡城の土塁遺構と同様ですと絵図を元にお話し。いなもとは氏は全国約550ヶ所の城を石垣石を中心調査されて、矢穴石に関心の専門家。多賀神社裏手の外堀は今まで一直線と思っていたが約2mの横矢があることを指摘。惣門口に張り出した二重の遺構の可能性も指摘された。黒野城跡は外堀含め県の史跡に相当しますとご意見。



矢穴石や柱跡と思われる石に興味津々



西側土塁下側には見栄えがよいように石垣が並んでいた可能性を指摘



土塁下側に人工的に作られた段差があることを指摘。堀水の波で土塁が削れないように水際に段差の工夫がされていると初耳に関心寄せる。



搦め手側土塁跡見学



本丸跡よりも興味があると感嘆される外堀跡遺構



おはりや南の西木戸付近竹藪伐採で400前の景色が

NPO活動パネル展

市民活動交流センターの主催による市民活動登録団体のパネル展が、ぎふメディアコスモスで開催され、研究会は今年度の市民活動状況の写真を展示。会員募集も表示。

黒野城と加藤貞泰公研究会

令和2年2月16日(日)～2月22日
ぎふメディアコスモス



黒野城と
加藤貞泰公研究会

黒野城の歴史を展示し、城上歴史公園や研究、史跡の案内板を整備したり、城上歴史公園・上郷・歴史公園で市民活動など、多くの活動を実施しているのがメディアコスモスです。

目的コミュニティ部門

第2回 ぎふまちづくり「改善」大賞＝大賞受賞

、ぎふで真似したいまちづくりの仕組みや工夫を勝手に表彰するもので、ぎふまちづくり「改善」大賞実行委員会の岐阜大学高木朗義教授らにより選考された6団体のヒアリングからポスターの制作まで実行委員会が行われた。メディアコスモスで1週間の公開投票が行われ、その結果、地縁コミュニティ部門と目的コミュニティ部門のうち目的コミュニティ部門で最高の46票を獲得し大賞を受賞しました。

【特定課題に関する活動】 黒野城と加藤貞泰公研究会 資料作成 “ぎふまちづくり「改善」大賞” 実行委員会

公益性を求められる市民活動支援事業として 発信や交流を積み重ね、協力や寄付を安定的に獲得

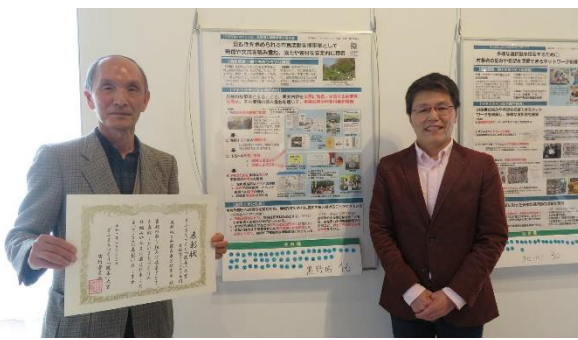
【活動概要・他にもありそうな課題】

【活動】 黒野地区の歴史である黒野城と城主加藤貞泰公の知名度が低いため、学生や若い世帯に地元のことを知ってもらい、郷土の誇りとして保存・継承する。そのため研究と情報発信に取り組んでいます。

【課題】 調査研究だけでは、地域の人々、特に黒野城のことを知らない学生や若い世代に、歴史を知らせることが進まない。発掘した歴史のPRが課題。

【マネできそうな手順や実例】

公益的な事業とすることで、研究内容を市民に発信・交流する必要性を高め、その実践の積み重ねを通じて、多様な協力や寄付金を獲得



この模様は、ぎふチャンネル番組や中日新聞で紹介された。

公益性を求められる市民活動支援事業として 発信や交流を積み重ね、協力や寄付を安定的に獲得

【活動概要】

【活動】

【課題】

【マネできそうな手順や実例】

表彰状

ぎふまちづくり「改善」大賞
目的型コミュニティ部門
黒野城と加藤貞泰公研究会 殿

貴殿の取り組みは岐阜県で最も真似したいまちづくりの仕組みや工夫に選ばれましたよつてここに表彰いたします

令和二年二月二十三日
ぎふまちづくり「改善」大賞
実行委員会

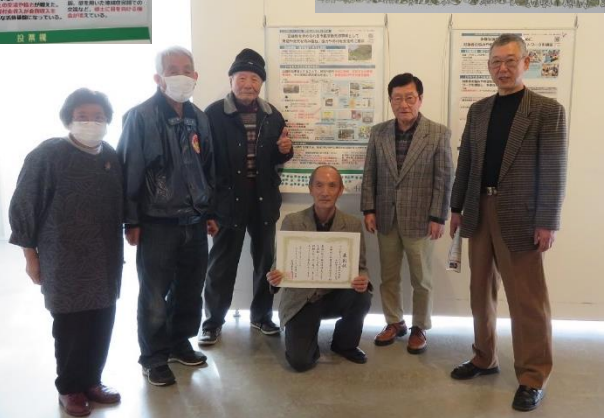
岐阜市内の優れたまちづくり活動を表彰し、紹介する「ぎふまちづくり「改善」大賞」の表彰式が二十三日、岐阜市司町のぎふメディアコスモスで開かれた。岐阜大の高木朗義教授ら市民有志でつくる実行委が主催し、昨年に続いて二回目。十六日から一週間、同所で実行委が選抜した六団体の取り組みをパネルで紹介し、来場者がシールで投票して大賞を決めた。

特定地区での活動部門では「けやき祭り」などの催しを開く、本郷まちづくり協議会が大賞に選ばれた。事務局長の小川秀樹さん(五)は「『楽しさ』を全面的に出したのが、子どもから大人まで楽しめることに

つながったと思う」と振り返った。

特定課題に関する活動部門では、同市黒野地区の歴史を研究し発見する、黒野城と加藤貞泰公研究会が大賞になった。会長の河口耕三さん(七)は「幅広い世代と活動することで、若い世代に歴史を伝え続けられている」と話した。

(下條大樹)



令和元年度 ふるさと黒野検定こども版表彰

令和元年度の「ふるさと黒野検定子ども版」は6回に渡って実施されましたが、例年の表彰式は新型コロナウイルスの感染拡大予防の為、中止となりました。

表彰式で手渡される予定だった賞状やメダル、記念品は担任の先生を通じて成績上位の児童に渡して頂きました。

表彰者	最優秀賞 金賞 メダル	優秀賞 銀賞 メダル	優良賞 銅賞 メダル
4年生	1名	1名	
5年生			
6年生	4名	2名	5名
クラス表彰	4年1組		



被表彰者名簿

賞	学年・組	氏名
金賞 5名	4-2	河口 ほなみ
	6-3	日下 那福
	6-3	高井 煙大
	6-3	玉木 柚花
	6-3	山田 明日美
銀賞 3名	4-1	倉岡 優月
	6-1	杉本 誌歩
	6-3	今木 唯乃
銅賞 5名	6-1	久世 梨央
	6-1	五上 亜侑
	6-1	内藤 心愛
	6-1	不破 妃彩
	6-1	安井 真希
計		13名

※ この他全員に参加賞贈呈

クラス表彰

4年1組	6年2組
------	------